



議会だより

第70号

木津川市議会

9月定例会



コロナ禍後の市民生活を議論 本 会 議 2~3

歳入342億円の使途をただす 決算特別委員会 4~5

上粕小に音響設備のプレゼント 補正予算特別委員会 9

14人が市政を問う 一 般 質 問 12

運動会 あの子も
この子も大活躍
木津保育園

市民生活を議論

9月定例会は、8月30日から9月26日まで、28日間の会期で開催。同意1件、認定11件、議案13件、発議2件を審議し、発議1件を除き同意・認定・可決した。



議案一覧へ

5年度一般会計決算

収入342億3294万円、支出327億1578万円。
(4、5ページ参照)

Q 決算の課題と、職員確保と人材育成は。

A 規律ある財政運営と、適正な職員体制を目指す。

Q 学校給食の無償化は。
A 市の財政状況を考慮し、国へも要望する。

反対討論

宮嶋 良造
北陸新幹線延伸など大型開発のまちづくりを推進。副市長2人体制や不公平な同和行政を進めた。

賛成討論

福井 平和
子育て医療費18歳まで

拡充、森林整備による減災対策やにぎわい拠点構想策定など成果が大きい。

反対討論

谷口 英子
①市民協働のまちづくり②長期的な子ども施策③職員の人材育成④文化財保護、等が課題で反対。

賛成討論

大角 久典
12月から子育て支援医療助成を18歳の年度末への拡大。物価高騰対策などの確な支出で賛成。

賛成多数で認定
(賛成15人・反対4人)

文化財保存活用地域計画協議会の設置

市の文化財地域計画推進のための協議会を設置

し、評価・検証を行う。

Q 文化財保存活用地域計画協議会の人選は。

A 専門的な知見を有する人材等を委員としたい。

反対討論

谷口 英子
計画の策定委員、実行委員、協議会の委員が似通っている。正しく評価できるか疑問であり反対。

賛成討論

兎本 尚之
多くの方々の協力を得て進めてきた「努力と歴史」を踏みにじる反対はやめていただきたい。

賛成多数で可決
(賛成17人・反対2人)

5年度国民健康保険特別会計決算

収入69億2841万円、支出68億816万円。
302世帯723人減少。

Q マイナ保険証を持たなくても資格確認書が利用できることの周知を。

A 周知の強化を図る。

全員賛成で認定

5年度後期高齢者医療特別会計決算

収入12億7505万円、支出12億6284万円。

Q 保険料の滞納額の増

加傾向が続いているのは高齢者の生活が苦しいこととの表れではないのか。
A 納付が困難な場合は相談に乗り、状況を踏まえて対応している。

反対討論

西山幸千子
4年から保険料値上げ。4年10月からの窓口負担1割から2割へ、連続する負担増であり反対。

賛成多数で認定
(賛成17人・反対2人)

5年度介護保険特別会計決算

収入59億7649万円、支出59億440万円。
介護認定者数は3637人で21人増加。

コロナ禍後の

Q 高齢者の生活が苦しい中で、保険料の値上げを決めた理由は。

A 被保険者5、6人で1人の要介護者を支えている。所得に応じた負担が必要。

全員賛成で認定

6年度補正予算3号

7367万円を追加し、予算総額342億4460万円とするもの。主な内容は産官学連携による人材育成事業と小学校の施設整備への寄付金活用など。
(9ページ参照)

反対討論 山本しのぶ

文化財保存活用地域計画協議会に係る補正予算の提出の経緯に、疑問があり反対。

賛成討論 柴田はすみ

若年がん患者支援事業をはじめ、市民の命を守る大切な予算に反対する

理由が分からない。

賛成多数で可決

(賛成17人・反対2人)

震災時に使える トイレカーの購入契約

個室5部屋の大型トイレカーの契約。納期は8年3月末まで。

全員賛成で可決

5年度

水道事業会計決算

収益17億6773万円、費用17億5070万円。

Q 空席の上下水道事業管理者のポストは。

A 位置付けを見直し、安定した事業の継続に努めていく。

反対討論 宮嶋 良造

府営水に頼り、第2次府営水道ビジョンがいう広域化による経営改善を

図ることは反対。

賛成討論 高岡 伸行

水道事業は黒字。生活に必要な水を安定供給し続ける責務があり、今後とも経営基盤の強化を期待。

反対討論 山本しのぶ

今後は大規模更新事業や管路更新の必要がある。課題である次世代職員の確保・育成が進まず反対。

賛成多数で認定

(賛成15人・反対4人)

5年度

下水道事業会計決算

収益23億40万円、費用22億9901万円。

Q 市民生活が苦しい中、なぜ下水道使用料を値上げしたのか。

A 2千万円の増収となり、経営は安定した。

反対討論 宮嶋 良造

コロナ禍と物価高にも

賛成多数で認定

(賛成17人・反対2人)

かわらず、23年2月使用分から下水道使用料を20%値上げした。



5年に完成した木津小学校新校舎

使途をたどる

決算特別委員会

決算特別委員会は9月17日、18日、19日の3日間、9人で5年度一般会計歳入歳出決算の審査を行った。

支出は、コロナ対策の交付金があった4年度と比べ、11億8787万円減額となった。

収支は、15億1715万円で、翌年度繰越額6億4199万円を差し引いた実質収支は8億7515万円の黒字となった。

基金（貯金）は106億3213万円で、地方債（借金）と債務負担行為の残高は317億7407万円（前年度比18億5139万円減）となった。

経常収支比率は94・2％で、前年度比2・9ポイント悪化した。財政力指数（3カ年平均）は0・595で前年度を0・013ポイント下回った。

主な質疑

（総務部）

防犯カメラなどの防犯対策は

Q 防犯対策の状況は。

A 駅周辺の駐輪場には

防犯カメラを43台設置。

防犯灯についても地域要

望に応じて適宜設置した。

（企画戦略部）

観光振興の成果は

Q 観光協会への委託事業は。また拝観者数など

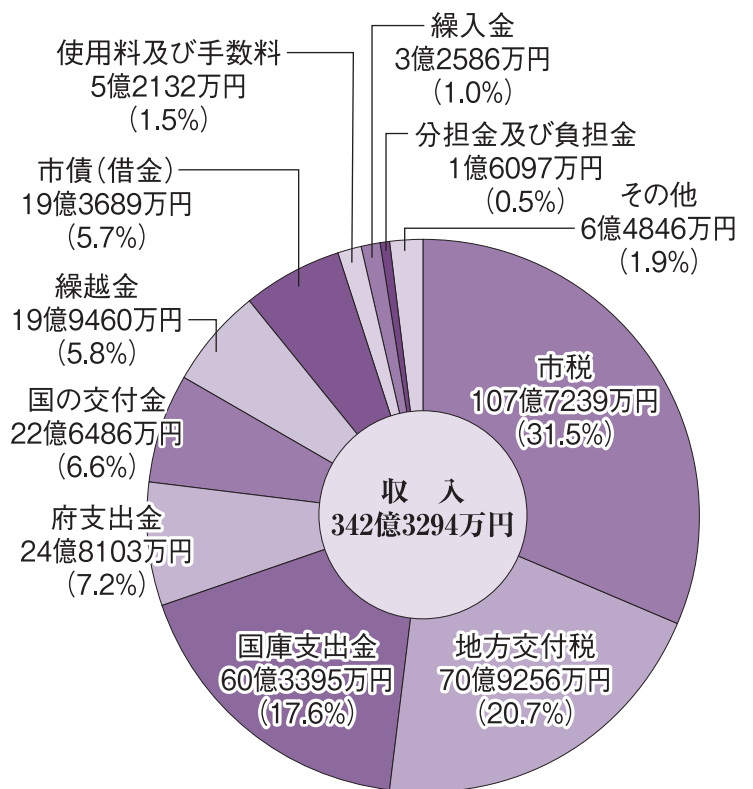
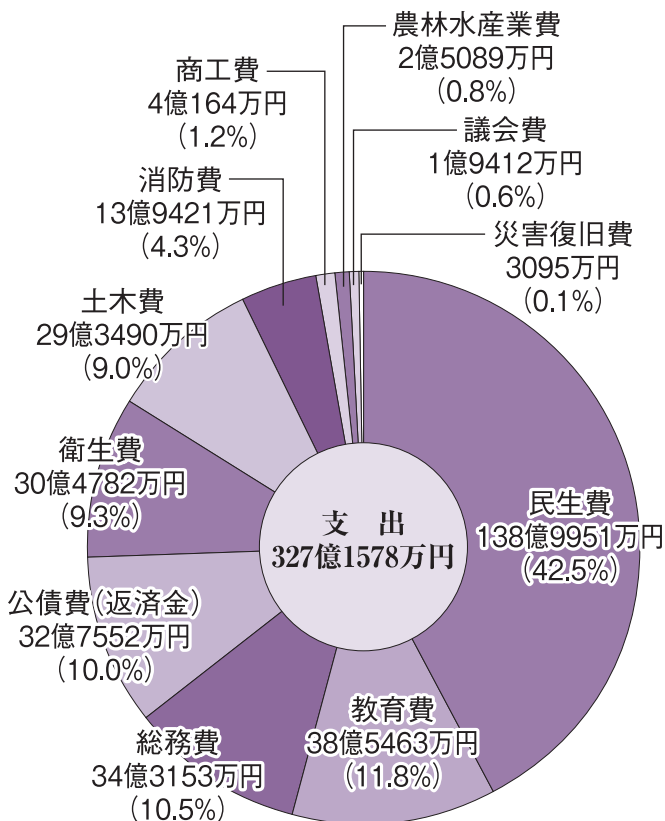
観光客の状況は。

A 秘宝・秘仏の公開など

約2138万円を支出。

他府県からの観光客が

増えるよう工夫する。



(万円未満は切り捨てのため合計金額は一致しません)

5年度決算

歳入342億円の



5年度に開催された
奈良・東京国立博物館での特別展

ふるさと納税は

Q ふるさと納税の取り
組みと収支結果は。

A 新たな返礼品の発掘、
サイトの見直しなどの結
果、1億163万円の寄
付が集まったが、財政的
には約2千万円のマイナ
スとなった。今後とも魅
力発信に取り組む。

(市民環境部)

市民サービスの充実

Q マイナンバーカード
による引越しワンストッ
プサービスやカードの交
付支援は。

A 転出入届の簡素化が
できる。カードの交付率
が8割近くとなり、今後

は、トラブル防止や高齢
者の自宅へ訪問して申請
支援などに取り組む。

合併浄化槽設置は

Q 今後の見込みと、補
助金割り増し対象外の特
定地域の扱いは。

A 12基に補助。今後も
一定数の設置が予想され
る。新たに特定地域に指
定する場合は、地域住民
と協議する。

(健康福祉部)

民生委員は成り手不足か

Q 市の民生委員の充足
率は。定数の見直しは。

A 定数142人で欠員
はない。地域の状況に応
じて定員を考えていく。

(建設部)

木造耐震診断の状況は

Q 診断報酬の適正化に
向けての市の取り組みは。
A 府へ要望する。

(教育部)

英語・日本語教育は

Q 外国語指導助手（A
LT）や日本語教育は。
国際交流協会との連携は。

A 3人のALTが市内
中学校に勤務している。
日本語学習指導員は7
人が従事。今後、保護者
や学校とも協議し、国際
交流協会との連携を拡充
していく。

放課後児童クラブの現状

Q 使用料の未納状況は。
A 5年度末で約52万円
の未払いがあり、引き続
き徴収努力を続ける。

反対討論

・北陸新幹線の延伸要望
をやめ、暮らしを支えよ。
・文化財保護行政には深
刻な問題がある。

賛成討論

・財源確保や、子育て支
援など重点施策に注力。
・公共交通の維持にも尽
力し評価できる。

賛成多数で認定

(賛成6人・反対2人)

主な事業の決算額

(5年度一般会計)

- ・小川内水対策事業8億8994万円
- ・エネルギー・食料品等価格高騰
重点支援給付金6億5836万円
- ・新型コロナウイルスワクチン接種 ...2億3063万円
- ・木津小学校校舎改築2億4157万円
- ・相楽小学校校舎整備1億9501万円
- ・中央図書館長寿命化改修工事1億3315万円

(万円未満の金額は切り捨て)

委員 倉 克伊	委員 大角 久典	委員 宮嶋 良造	委員 玉川 実二	委員 谷口 英子	委員 小見山 正	委員 福井 平和	副委員長 谷川 光男	委員長 堤 征一郎
---------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	------------	-----------

文化財の積極的な活用に向けて

総務文教委員会

9月3日、13日に委員会を開会し、認定5件、議案6件、報告4件を審査した。

全議案認定・可決

歴史・文化を活かしたまちづくりの推進を

文化財保護法の規定に基づき、協議会を設置するもの。

Q 10人以内のメンバーの選定は。女性の選出が必要では。

A 考古学、博物館学、美術工芸品等の学識経験者、文化財愛護団体、観光振興関係者を想定。女性も含め、適任者を選定したい。

Q 協議会の開催頻度は。
A 5年度から12年度までの8年間の計画期間。事業の進捗管理や検証などを行うため、年2回程度を予定している。

Q 納車時期は。
A 8年3月末までに納車予定。

定年の延長に伴い
役職延長を可能に

役職定年制度の制限に特例を設けるための改正。

Q 想定している役職は。

全員賛成で可決

Q 搭載システムを使って使用状況等を避難住民に知らせられないか。
A 今後検討していく。

トイレカーの買い入れ

全員賛成で可決

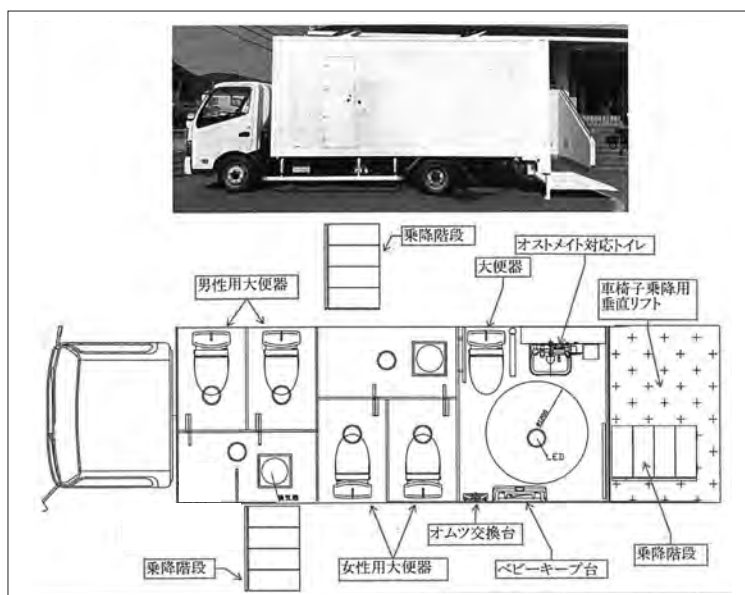
A 管理職。
Q 他市での制定状況と給与は。
A 府内では京都市を除き、もう一市が条例等の規定がない。給与は従来どおり支給。

5年度財産区会計決算

Q 旧北村旧兎並村旧里村財産区の決算で、5年ごとの線下補償金繰入金は毎年計上する方が分かりやすいのでは。
A 5年に1度の配分金は、一部事務組合の加茂

笠置組合で審議。財産区は関係15区あり、均等割、戸数割で配分されたもの。

全員賛成で認定



購入予定の大型トイレカー（ユニバーサルタイプ）

5年度各財産区決算（万円未満の金額は切り捨て）

○旧北村旧兎並村旧里村財産区	収入	4857万円	支出	4836万円
○旧加茂町財産区	収入	309万円	支出	281万円
○旧瓶原村財産区	収入	1160万円	支出	1140万円
○旧当尾村財産区	収入	319万円	支出	289万円
○旧木津町準財産区	収入	2093万円	支出	2093万円

5年度国保決算 一人当たりの保険給付費 2.2%増

厚生委員会

9月4日に委員会を開会し、認定3件、議案4件、報告1件を審査した。

全議案認定・可決

5年度国保決算

Q 特定健診の受診率が2種類あるのは。

A 市が実施の受診率は27%。事業計画の受診率は国の法定報告のため、対象が異なり41・5%と記載。

Q 保険料の特別徴収と普通徴収は。窓口負担が2割と3割の人数は。

A 特別徴収は76・5%、普通徴収は23・5%。2割負担が2782人と3割負担が764人。

Q 国保税の特別徴収と普通徴収の割合は。

A 特別徴収は12・1%、普通徴収は87・9%。

国保加入時には口座振替の勧奨を行っている。

全員賛成で認定

5年度後期高齢医療決算

Q 在宅サービスの限度額に対する利用割合の平

均72・4%の評価は。均72・4%の評価は。

A ケアマネと本人や家族が話し合い、必要なサービスを利用している。

Q 市に介護医療院はあ

るのか。

A 市にはないので、市外の黄檗病院や春日病院を利用している。

5年度介護保険決算

均72・4%の評価は。

A ケアマネと本人や家族が話し合い、必要なサービスを利用している。

全員賛成で認定

受給者証の提示

「紙の健康保険証」廃止に伴う条例改正。

Q 医療機関の窓口で提示するものは。

A マイナ保険証の有無に関わらず、これまで通り受給者証は提示。

全員賛成で可決

インターネットで閲覧

特定保育事業運営の基準条例の一部改正。

Q こども園等の運営規程など重要事項の公開も方法が変わるのか。

A インターネット上でも閲覧できるようにする。

全員賛成で可決

保育士の配置基準を改善

保育の運営基準の条例の一部改正。

Q 市内の家庭的保育事業所は。改正の影響は。

A 0・2歳児対象の4園がある。改正により影響を受ける施設はない。

全員賛成で可決

5年度各特別会計決算

(万円未満の金額は切り捨て)

○国民健康保険特別会計			
収入	69億2841万円	支出	68億 816万円
○後期高齢者医療特別会計			
収入	12億7505万円	支出	12億6284万円
○介護保険特別会計			
収入	59億7649万円	支出	59億 440万円



活発に運動する参加者（元気もりもりクラブ）

状況に応じた 管路更新を

産業建設委員会

9月5日に委員会を開会し、
認定2件、議案2件、報告3件
を審査した。

全議案認定・可決

5年度水道事業会計決算

Q 決算書は、参考となる類似団体の経営指標の平均値を示すべきでは。
A 今後、記載も含め検討する。

Q 常駐する職員1人の追加で委託料が増加したが、効果は。今後の入札の考え方は。
A 支払いチェックや未納通知業務の委託の効果で滞納分の約10%が収納できた。事業者選定は慎重に行う。

Q 5年度の債権放棄は。
A 平成25年度の未納分

の不納欠損処理を行った。

Q 管路の更新が進んでいないが。

A 地元調整等で遅れている。法定耐用年数は40年だが、それを超えても利用は可能である。実情に応じて更新していく。

Q 吐師・木津受水場の有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）の数値をホームページで公表を。
A 数値は目標値を下回っている。府の検査結果は市ホームページから見られる。

Q 職員の年齢構成は。

若い技術者の育成は。
A 20代1人、30代2人、40代2人、50代6人。技術者育成の必要性は認識している。

反対討論

滞納整理の民間委託や、職員年齢層の偏りに課題。

賛成討論

持続可能で安定した水道経営の確立に努力。

賛成多数で認定

5年度公共下水道事業会計決算

Q 処理区域内の未接続の戸数は。8年度以降も助成金制度を延長しては。
A 未接続は1789戸。今後水酸化促進に向け周辺自治体の制度も参考に検討する。

Q 滞納対策に関する監査委員からの指摘にどう対応しているのか。

A 今後も現年度徴収を

適切に行うとともに、滞納対策強化に取り組む。
全員賛成で認定

市営住宅管理条例の一部改正

Q 廃止した用地の利用は。

A 加茂町尻枝団地の取り壊しにより、土地の売却も含めた利活用を検討する。

全員賛成で可決



管路更新工事の様子

5年度各特別会計決算

(万円未満の金額は切り捨て)

○水道事業会計

(収益的) 収入	18億9378万円	支出	18億6086万円
(資本的) 収入	1億 134万円	支出	3億7828万円

○公共下水道事業会計

(収益的) 収入	24億 503万円	支出	23億7615万円
(資本的) 収入	8億2416万円	支出	12億6374万円

地元財産区から上狛小に音響設備のプレゼント

補正予算特別委員会

9月6日に委員会を開会。一般会計予算を7367万円増額し、342億4460万円とするもの。

主な質疑

指定寄付金の活用

Q 上狛小の音響設備は修理の要望があったのか。

A 修理の要望はなかった。地元区から寄付金の申し出があり、学校側との話がまとまった。

産官学連携人材育成事業

Q 委託料の内訳と20回の勉強会の後は。

A 研究学費10人分、1200万円。統括教員等の人件費や活動費他で300万円。総額1650万円。ビジネス発表会での受賞例など参考とする。

自治体情報システムの標準化

Q セキュリティー面は。市独自のシステムへの影響は大丈夫か。

A 府が基準を定めて業者を選定した。独自に必要な部分は外付けの仕組みを作る対応となる。

製茶機械の買い替え

Q 何年ぐらい使用していたのか。目的は。

A 修理しながら35年間使用。産地評価の向上で農業所得も向上する。

自動操舵トラクター購入

Q 以前にもあったのか。3年度に加茂町高田でトラクターの購入があった。今回は加茂町瓶原

のねぎ生産者。

耐震診断6件分を増額

Q 追加分以外の状況は。11件全て申し込みがあり6件追加した。

現状は、本格・簡易の耐震改修、シェルターの申し込みは0件。

保育施設の修繕料

Q 今年の暑さによるエアコン修繕なのか。

A 今回の厨房のエアコンは急な故障。園のエアコンは導入時期により計画的に対応している。

若年がん患者在宅療養支援事業

Q ①人数の把握は。②周知方法は。③なぜ早く対応できなかったのか。

A ①具体的な人数は把握していない。②広報きづがわ・市HP・医療機関からの周知など。③制度設計に時間を要した。4月に遡及し受け付ける。

文化財保存活用地域計画協議会

Q 実行委員会と同じメンバーが入ると、公平公正な評価が難しいのでは。

A 一部重なるが、協議会は進捗管理や事業の評価を行い、相互理解の関係性であると考えている。

全員賛成で可決

補正予算第3号の主な事業

- 産官学連携人材育成事業 ……1650万円皆増
- スマート農林水産業実装チャレンジ事業 ……219万円皆増
- 若年がん患者在宅療養支援事業 ……95万円皆増
- 共同製茶等省力化推進事業 ……57万円増

委員長 西山幸千子
副委員長 柴田はすみ
委員 野田 えり

// // // // // //
高岡 山本 森本 草水 山本 山崎
伸行 和延 隆 基成 しのぶ 光祐

議員発議

市長に対して誠実な対応を求める決議

提出者 山本しのぶ
賛成者 谷口 英子

一般質問で、3月議会で採択された請願項目「木津川市長に対して、

木津西消防出張所の在り方に関わり、地域住民へ説明会を行うように消防本部に要請すること」に

ついて市長に問うたが、明言を避けた。直前の消防組合の管理者会で、説明会は「開催しない」ことを決定。そのことを答弁で工夫して伝えるべきであった。

よって、市長が市民と議会に対して誠実に対応することを強く求める。

Q①3月議会で採択した請願項目は、「木津川市長に対して、木津西出張

所の在り方に関わり、対象地域住民への説明会を行うように要請すること」。間違った文面の決議は、正当性・有効性がないのでは。

②はじめに決議ありきで、あまりにも議会の合意というものを軽視しているのではないか。

③法律により市長が市議会の場で答えられないが、質問に工夫が必要だったのでは。

A①文面は変わってしまったが、市長に対して誠実な対応を求める決議である。

②請願者は採択後ずっと待っていた。この議会に決議をしなければならぬと考えた。

③ルールで組合議会のことは答えられないとの答弁だった。

反対討論 西山幸千子

議会決議とは重いもの。賛成少数で否決

賛成討論 谷口 英子

市長には議員以上に高い倫理性と誠実で公平な態度が要求される。議会と市民を尊重するべきだ。

採択した請願項目の内容を作為的に変えている。ルールを守るべきである。

賛成討論 谷口 英子

市長には議員以上に高い倫理性と誠実で公平な態度が要求される。議会と市民を尊重するべきだ。

賛成少数で否決

賛成3人・反対16人

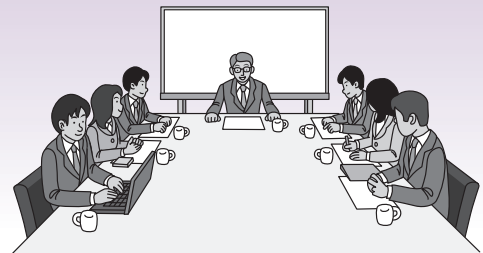
木津川市議会の個人情報保護に関する条例の一部改正

発議者 議会運営委員会

デジタル社会形成基本法の一部改正が6月7日に公布されたことで、行政運営の簡素化及び効率化を図るための改正を行うもの。

全員賛成で可決

11月は高校生と議会のつどいを開催します



年2回開催しています「市民と議会のつどい(議会報告会)」について、11月は開催しないことになりました。

今回は、試行実施として「高校生と議会のつどい」を開催することとし、京都府立木津高等学校の生徒と「高校生から見た木津川市への想い」をテーマに意見交換を行います。



※学校の授業の一環として開催するため、傍聴はできません。

※結果報告は市議会ホームページや次号の議会だよりで行う予定です。

組 合 議 会 報 告

過去最高の収納率
55・6%

5年度決算
保険給付費増

(京都地方税機構)

(後期高齢者医療)

8月7日、定例会開会。
議案2件を審議。

8月9日、定例会開会。
同意1件、承認2件、議案2件、認定2件、請願2件を審議。

○5年度一般会計決算

収入24億5327万円、
支出24億5226万円。
市負担金は7011万円。

副広域連合長に古川博
規氏(副知事)を選任。

全員賛成で同意

移管額は年152億9
900万円に対して85億
200万円と収納額が5
億7600万円増加し、
収納率は2・7ポイント
上昇して55・6%。

○6年度一般会計補正予
算第1号

収入支出それぞれ11
86万円を追加。標準シ
ステム機器更改に要する
経費。

賛成多数で認定

副広域連合長に古川博
規氏(副知事)を選任。

全員賛成で可決

全員賛成で同意

○6年度特別会計補正予
算第1号

収入支出21億1168
万円を追加。支出は出産
育児支援金334万円、
準備基金積立金15億円等。

賛成多数で可決

○5年度一般会計決算

収入11億1077万円、
支出10億1760万円。
収入は府内26市町村の
分担金7億2000万円
等。市の分担金は206
6万円。

収入は府内26市町村の
分担金7億2000万円
等。市の分担金は206
6万円。

賛成多数で認定

○5年度特別会計決算

収入4164億916
6万円、支出4059億
3921万円。

保険給付費が182億
718万円増で、被保険
者数40万9480人、一

人当たりの医療給付費96
万円。

賛成多数で認定

5年度決算を認定

(加茂笠置組合)

8月26日、定例会開会。
認定1件を審議。

○5年度決算

収入7476万円、支
出7384万円。92万円
の黒字。

Q 笠置町域の奥吉野線

の線下補償は未収入だが、
今後の見通しは。

A 関西電力と線下補償
組合との協議が完了した
後、入金となる予定。

全員賛成で認定

令和7年第1回定例会から 議場の音響・映像システムが 新しくなります!!

- 議場への大型モニターの設置や、インターネット画面に発言者名や資料を表示するなど議会の審議を分かりやすくします。
- 難聴者の方に分かりやすいようモニターに字幕を表示します。
- 難聴者の方の補聴器に直接音声を伝える機器を導入します。

本会議や委員会の様子は、傍聴や市議会ホームページでのライブ中継などでご覧いただけます。

市民の皆さまにとって、分かりやすく開かれた議会づくりに今後も努めてまいります。

第69号8ページに間違
いがありました。
お詫びし、訂正します。
(ホームページは訂正
済みです。)

(誤) 奥村由治氏(南山
城村)
(正) 奥森由治氏(南山
城村)

一般質問

14人が市政を問う

一般質問では、議員が調査・研究、住民の声や自身の考えをもとに政策提言を行い、行政（市長）に方針や見解を問うものです。

木津川市役所
KIZUGAWA City Office

市議会中継
スマホに対応



介護認定の審査期間の短縮を

迅速な要介護認定に努める



日本維新の会
こみやま 小見山 ただし 正

自治会への加入率向上は

Q ①自治会は地域福祉や防災などの場面で重要な役割が期待されているが、加入率が下がっている。加入率向上のための支援は。②市長と市民の意見交換の場は。

A 総務部・市長室①加入率の向上は重要な問題であると認識している。地域活動支援交付金などを活用して支援していきたい。②各種団体とのタウンミーティングを行っている。

Q ①時間がかかり困っている人がいるが、審査期間を短縮する工夫は。②市民の介護保険制度への理解を深めるための取り組みは。

A 健康福祉部①全国的に標準処理期間30日を超えており、国において認定のプロセスを見直すことが検討されている。市では速やかな認定のために、認定調査員を増員した。審査会委員の事務軽減のため審査会をオンライン対応にした。かかりつけ医を持つことも推奨している。②いきいき介護保険の冊子を配布して啓発に努めている。



集会所を使って自治会活動を活発に



備えあれば憂いなし トイレの修繕を

Q 保育現場と担当課に認識のズレがあると思うが、運営の実態調査が必要では。

A 健康福祉部 これまでも園から状況を聞くなど、必要であれば所要の人員を配置している。今後も、各園長等から現場の声を聞き、運営状

Q 況も把握し、必要に応じて適切に対応する。

A 中央体育館のアーナには扇風機もない。とても暑く、子どもたちの体調が心配と利用者等から聞くが。

Q 安全で快適な環境を

A 南加茂台小学校の体育館の雨漏りと屋外男子トイレ小便器が壊れたままだが。

Q 奈良市長との包括協定の会議で、赤田川の問題等について取り上げてもらったが。

A 市長 大変有意義な協議であった。

保育施設の職員数等の人材状況は状況を見極めて確保に努める



無会派
くさみず 基成
草水 基成

A 教育部 雨漏りは修繕済み。トイレは学校が使用しないので直していない。

奈良市等と一層の連携を

採択された請願のその後は組合が適切に説明すると考える

Q ①2年の説明会の案内に、木津西出張所廃止の記載があったか。

②説明会の案内を作成したのは。

A 危機管理監 ①なかった。②市と消防組合が連携し作成。

Q 地域防災計画にある橋梁耐震点検の実施を。

A 建設部 耐震調査が必要となる橋梁に対し実施を検討。

Q ①簡易トイレの備蓄数が91基では少ない。

②小中学校8校に簡易トイレ・水の備蓄がない。備蓄の徹底を。

A 危機管理監 ①20基購入し、現在111基。②現在、再検討している。

Q 必要業務内容は記載済みか。

A 危機管理監 被災状況に応じ、必要事項を記入する。



無会派
やまもと 山本しのぶ

防災備蓄品の徹底を

Q 市で備蓄する凝固剤と袋も少ない。各家庭に備えの周知徹底を。

A 危機管理監 積極的な備蓄を啓発中。

応援要請シートの準備を

説明会の開催

相楽中部消防組合消防本部新庁舎建設に係る説明会の開催について

この度、消防本部新庁舎の建設に係る「相楽中部消防組合消防本部新庁舎建設基本構想」を策定し、城山台地内にて新庁舎の建設を進める運びとなりました。

つきましては、以下のとおり説明会を開催いたしますのでお知らせいたします。

☆日時及び開催場所

- | | |
|-------------------|------------|
| ① 11月21日(土) 10時から | 高の原小学校 体育館 |
| ② 11月21日(土) 14時から | 相楽台小学校 体育館 |
| ③ 11月22日(日) 10時から | 木津川小学校 体育館 |
| ④ 日時調整中 | 城山台小学校 体育館 |

新庁舎建設に合わせ、本部等及び出張所の再編を行い、令和7年4月、新庁舎での業務開始をめざし新庁舎の建設を進めます。

みなさまのご出席をお願いいたします。

【お問い合わせ】

相楽中部消防組合 消防本部 総務課 0774-75-1380
木津川市 総務部 危機管理課 0774-75-1206

2年に開催された説明会のお知らせ



恭仁宮跡を市の歴史文化・観光の拠点に

恭仁宮跡を市の文化・観光拠点に

府・市協働で整備等に取り組む

Q ①恭仁宮跡の公有地の現況と整備計画は。計画において、文化等の拠点に位置付け。

②市の歴史文化・観光拠点の考えは。

A 教育長・教育部 ①約10万4千㎡。府で整備検討協議会が組織された。コスモスやソバ（1万6千㎡）を栽培し、今後も継続する。②府総合

③バスの均衡ある再編を

Q ①アンケート結果は。②時刻表の変更や土日祝日の運行は。③精華

町とのバス広域化と祝園駅までの延伸計画は。



日本維新の会
谷川 光男

④免許証自主返納者にコミバスを無料にしては。

A 市長・企画戦略部 ①176人回答。便

数が少ないとの意見がある。②ダイヤ改正・土日祝日運行は考えていない。③要望はあるが、広域化はしない。④無料化は難

住民の声から

Q ①下水道使用料の滞納対策は。②市の熱

中症対策は。③信号機の設置要望は。④デジタル型戸別受信機の高齢者等への貸し出しは。

A 上下水道部・市民環

境部 ①給水停止等を執行。②ホームページ等で周知する。③地域要望をとりまとめ提案中。④代替手段で対応。

JR奈良線ガード下の拡幅を

複線化計画と調整を図る

Q JR奈良線と市道木津鹿背山線の交差するガード下は道路幅が狭く、人や自転車も通り危険である。拡幅も含めた安全対策が必要では。

A 建設部 拡幅のみの工事は費用面から困難で、複線化計画の中で調整する。

Q 城陽井手木津川バイパスとJR奈良線複線化について、会派で東京へ陳情に行った。市の取り組みは。

A 建設部 2つの促進協議会などを通じて、国や府に要望活動をしている。



自民党木津川
つつみ せいしろう
堤 征一郎

職員でドローンの運用を

Q 職員が直接ドローンを運用して、災害

・教育など幅広い分野で積極的な活用ができる体制を作っているのか。

A 危機管理監・企画戦略部 観光や災害対応で活用をしている。市

がドローンを所有することとは難しい。

命名権で収入の増加を

Q ネーミングライツで、市の収入をさらに増やす施策についての考えは。

A 総務部 条件を整えた上で、増やすための検討をしている。



拡幅が望まれるJR奈良線のガード下（宮ノ裏）



「市民の命を守る」消防団の操法大会

マイナ保険証の普及と利用促進は メリットの周知に努める

Q マイナ保険証の活用が進まない理由は、また、対策は。

A **市民環境部** 取得や保険証のひもづけが任意であるので、服薬、検診情報を医師等と共有できるなどのメリットが伝わっていない。利便性や質の高い医療を受ける

ための基盤となる正しい情報を発信していく。

Q マイナンバーカードを保有されていない方への対応は。

A **市民環境部** 新たな取り組みとして、来庁が困難な方へ行政書士によるサポート事業を行っている。



公明党
市議員
柴田はすみ

障害者サービスの充実

Q 福祉相談会の利用状況は。

A **健康福祉部** 利用がなかったもので、電話やファックスにも対応できる体制を取り、5年度は31件の相談があった。

Q 親の亡き後にどう対応していくのか。
A **市長** 行政単独では難しい。心配事に寄り添えるよう、引き続き国と府へ要望する。

婚活支援の取り組みは

Q きょうと婚活支援センターとの連携は。

A **企画戦略部** 出張セミナーの開催等広報・PR活動していく。

市民の安全・安心に向けた対応は 暮らしを守るまちづくりを進める

Q 「市民の命を守る」観点から不信感がある。具体的には木津西出張所の廃止に関する。市長の見解は。

A **危機管理監** 市民の生命と財産を守るために、災害に強い都市基盤を整備し、自助・共助・公助により、日々の暮

らしを守るまちづくりを進める。

Q 新庁舎建設に係る説明会通知では、木津西出張所廃止の件は、まったく伝わっていないが。

A **危機管理監** 出張所統合の説明主体は相楽中部消防組合。



改革木津川
玉川 実二

Q 消防団員の減少など体制の評価は。

A **危機管理監** 消防団は、地域防災の要として地域の安全確保のため欠かせない存在。南海トラフ地震や豪雨災害などに備え、地域防災力の充実強化に努めている。

Q 相楽中部消防組合が設立され52年。社会情勢や人口動態も大きく変わる中、体制の改革が問われているのでは。

A **危機管理監** 国の基本指針では市町村消防の広域化が示されており、市単独での消防本部は、検討していない。



マイナ保険証のメリットを周知せよ



地域猫活動は地域全体で取り組む必要がある

インクルーシブ公園の整備を

遊具について取り組んでいく

Q 城山台で特色ある公園づくりが始まったのか。

A 建設部 地域では特に不便を感じていないと回答された。

Q 公園も位置づけられていて緑の基本計画を改訂すべきでは。

A 建設部 改訂しないが、検証は必要と考える。

動物愛護を推進しては

Q 学校で動物愛護を学んでいるか。

A 教育部 棚倉小が動物愛護教室を実施。



無党派
谷口 英子
たにぐち えいこ

Q 地域猫活動の支援体制は。

A 市民環境部 主体は市ではなく、活動する市民である。

ワクチンは情報提供を

Q HPVワクチン接種対象者は誰か。

A 健康福祉部 小6、高1と、国が接種勧奨を控えた時期に対象の年齢だった女性。

Q 副反応について周知徹底すべきでは。

A 健康福祉部 ワクチンの有効性やリスクについて、今後も周知していく。

走らせて 移動図書館車

考えていない

Q 常設図書館から遠い地域や高齢者施設などを巡回する、移動図書館車を再度走らせては。

A 教育部 再開は考えていない。今後も魅力ある図書館づくりと運営を進める。

Q 中央図書館の駐車場は未舗装で、雨天

時は水がたまり利用しづらい。舗装するためにも用地取得ができないか。

A 教育部 借入を継続。毎年、碎石の補充整備を行っている。

Q 借りた本を返却するブックポストを、

JR木津駅などに新設する考えは。



新風コスモスの会
ふくい ひらかず
福井 平和

A 教育部 増設には、防犯面、回収費用など検討が必要。新たに設置する考えはない。

森林環境税の使途は

Q 6年度から、年間千円の森林環境税が徴収されている。この財

源が市町村に譲与税として、元年度より配分されている。今までの受け入れ額とその使途は。

A 建設部 約4千万円。使途は、山城町において、人工林の間伐費用などに使っている。

他に「カスタマーハラスメント対策」の質問をしました。



地域に本を届ける移動図書館（奈良市立図書館）



市民の移動手段をなくすな 城山台線の存続を

いじめゼロへ新アプローチを 年に2回いじめアンケート実施

Q ①小・中学校のいじめ対応はアンケートだけでは不十分。子どもたちにチラシ等を配布し、積極的に情報収集をすべきでは。

A 教育部①府から毎年名刺サイズの啓発カードを配布。悩みを相談できることを伝え、早期の発見に努めている。

②各校に「いじめ対策委員会」を設置し、対応している。

②新しい発想で教育的、行政的アプローチに取り組む必要があるのでは。

修学旅行で平和学習を



改革木津川

たかおか 高岡 のぶゆき 伸行

Q ①修学旅行は広島で平和の尊さを学ぶよう校園長会で議論を。

②小・中学生を毎年40人程公募し、平和学習として広島を訪問しては。

A 教育部①学習先は各校で校長が決定。

②広島に行かなくても、授業の中で動画や写真等で学んでいる。

発言権のある市に

Q JR関西線、学研都市線が減便になっている。JR西日本の株を購入し、株主総会で発言権を得るべきでは。

A 市長・副市長 協議会等を通じ、公共交通の確保に努める。株式の購入は検討していない。

非正規職員の手当・休暇の改善を 手当は現状のままで休暇は研究

Q ①会計年度職員に国基準で手当の支給を。②病休等の無給は差別ではないか。

A 市長室①期末勤勉手当の支給は国基準と異なる。②近隣の事例を研究する。

市民の移動を保障せよ

Q ①7年4月から城山台線のバスは廃止か。

②城山台での自動運転の実証実験はどうなるのか。

A 企画戦略部①移動手段の確保は必要だが、廃止の判断は奈良交通。②新交通サービスの導入

ごみ減量目標の達成を

Q ①ごみ減量が進んでいないのでは。②ごみ有料制を見直せ。③ごみの組成調査からもさらに分別の徹底で減量を。

A ①ごみ減量は進んでいないのでは。②ごみ有料制を見直せ。③ごみの組成調査からもさらに分別の徹底で減量を。



日本共産党

みやざわ 良造

を検討中。10月から実証実験内容を具体化する。

市は説明会の当事者では

Q ①消防出張所の説明会の開催は。②市も説明会の当事者では。

A 危機管理監①消防組合が説明会開催を判断する。②組合の所管事項だ。



広島を訪れ平和学習を（原爆ドーム）



消防団員の活動拠点となる詰所（木津第2分団第1部詰所）

急増する外国人住民への対応は

多文化共生の取り組みを進める

Q 現在、行政として実施している外国人住民への対応策は。

A **企画戦略部** 国際交流員を介しての対応、翻訳機や字幕表示システムなどを活用し、対応している。

Q 外国人住民への対応策としての国際交

流協会の役割は。

A **教育部** 日本語教室の開催や、防災訓練を通して防災意識の向上。また防災情報の取得方法の周知などに取り組んでいる。



日本維新の会
やまざき こうすけ
山崎 光祐

消防団活動の安全対策を

Q 各詰所にある消防ホース用乾燥設備をもっと安全に。

A **危機管理監** 調査の上、優先度が高いと認められる設備から改善していきたい。

Q 団員の熱中症対策は万全か。

A **危機管理監** 常備消防の対策と装備、熱中症対策ガイドラインなどを参考に万全を期す。

保健所から給食センターへ指摘は

温度管理の徹底と2時間喫食など

Q ①2年続けて保健所から指摘された2時間喫食と温度管理を守るべき。どのように改善するのか。②教育委員会に間違ったままの報告をした理由は。

A **教育部** ①今後委託する業者と早期に対応し、7年度をスタートし

地域防災計画は万全か

Q ①国内で一番古い高浜原発に何かあった場合は。②市内で一番被



日本共産党
にしやま さちこ
西山幸千子

害を及ぼす断層帯は。③精華町祝園弾薬庫に被害が出た場合はどうなるのか。

A **危機管理監** ①府と連携して広域避難所を開設し、避難者を受け入れる計画。②市の中央を通る奈良盆地東縁断層帯。③計画の「突発的な大事

故対策計画」に基づき対応する。

高齢者の活動の支援を

Q ①高齢化率の高い地域は。②健康保持の具体的な取り組みは。

A **健康福祉部** ①加茂圏域が高い傾向であり、南加茂台は55%。②趣味などの外出機会の創出、高齢者の移動支援のモデル事業など。



いざという時のために役立つ情報を



窓口に軟骨伝導イヤホンの導入を

買い替え時期に検討する

Q 安価で使いやすいイヤホンにしては。

えは。

A **健康福祉部** 現在のハンディ型補聴器の更新時に導入を検討する。

ワクチンの定期接種化を

Q 帯状疱疹ワクチン接種の独自施策の考

A **健康福祉部** 7年度実施に向けて整備中。

Q 胃がん検診に胃力メラを選択肢として入れる考えは。

A **健康福祉部** 7年度実施に向けて整備中。

熱中症対策は万全か



公明党

おおすみ ひさのり
大角 久典

Q 熱中症対策で取り組んだことは。

A **市民環境部** 熱中症特別警戒情報が発表された場合に、避難できる場所として、公共施設では市役所、加茂支所、山城支所など16施設。

商業施設では、イオンモール高の原をクーリングシェルターに指定した。今後の取り組みについての考えは。

Q **市長** 命の危険に関わることであり、まずは各自での熱中症対策、市としても情報提供や、でき得る支援について検討する。

A **市長** 命の危険に関わることであり、まずは各自での熱中症対策、市としても情報提供や、でき得る支援について検討する。



軟骨伝導イヤホン

採決結果		議案名(第3回定例会)						
		5年度一般会計歳入歳出決算	5年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	5年度水道事業会計決算	5年度公共下水道事業会計決算	文化財保存活用地域計画協議会条例の制定	6年度一般会計補正予算第3号	市長に対して誠実な対応を求める決議
賛否の分かれた議案のみ掲載 賛成=○ 反対=×	賛成=○ 反対=×							
議員名	会派名							
野田 えり	コスモス	○	○	○	○	○	○	×
福井 平和	コスモス	○	○	○	○	○	○	×
兎本 尚之	コスモス	○	○	○	○	○	○	×
森 本 隆	コスモス	○	○	○	○	○	○	×
堤 征一郎	自民党	○	○	○	○	○	○	×
山本 和延	自民党	○	○	○	○	○	○	×
倉 克 伊	自民党	○	○	○	○	○	○	×
山崎 光祐	維新	○	○	○	○	○	○	×
小見山 正	維新	○	○	○	○	○	○	×
谷川 光男	維新	○	○	○	○	○	○	×
西山幸千子	共産党	×	×	×	×	○	○	×
宮嶋 良造	共産党	×	×	×	×	○	○	×
大角 久典	公明党	○	○	○	○	○	○	×
柴田はすみ	公明党	○	○	○	○	○	○	×
玉川 実二	改革	○	○	○	○	○	○	○
高岡 伸行	改革	○	○	○	○	○	○	×
山本しのぶ	無会派	×	○	×	○	×	×	○
谷口 英子	無会派	×	○	×	○	×	×	○
草水 基成	無会派	○	○	○	○	○	○	×
長岡 一夫	議長	-	-	-	-	-	-	-
採決結果		認定	認定	認定	認定	可決	可決	否決

コスモス=新風コスモスの会 自民党=自民党木津川
維新=日本維新の会 共産党=日本共産党木津川市議員団
改革=改革木津川 無会派=会派に属さない議員

わたしの意見



やまぐち まさひろ
山口 雅弘 さん
(州見台)

多世代が集える
多目的運動公園を

市内には子どもたちが自由に走ったり、ボールを使って遊べる公園がほとんどありません。

そこで、昼夜問わず、大人も気軽にスポーツができるような多目的運動公園を市の中心に求めます。

広い空き地を有効活用し、多世代がスポーツに取り組みやすい環境を整えることも、市の行政サービスとして必要なことではないでしょうか。

カフェなどの商業施設もある多目的運動公園を。

このコーナーへの投稿をお待ちしています。(1行12字×16行以内)

令和6年 第4回(12月)定例会予定

月	日	曜日	会議・委員会	場所
11月	21日	木	議会運営委員会(議会招集告示)	全員協議会室(5階)
	28日	木	本会議(開会) 招集・提案説明・質疑・委員会付託等	議場(6階)
	29日	金	本会議 (予備日)	
12月	2日	月	総務文教常任委員会	全員協議会室(5階)
	3日	火	厚生常任委員会	
	5日	木	産業建設常任委員会	
	6日	金	補正予算特別委員会	
	9日	月	本会議 一般質問	議場(6階)
	10日	火	本会議 一般質問	
	12日	木	本会議 一般質問	
	13日	金	本会議 一般質問	
	16日	月	議会運営委員会	全員協議会室(5階)
	17日	火	本会議(閉会) 議案採決等	議場(6階)
	18日	水	本会議 (予備日)	

- ・日程は、変更になる場合があります。
- ・本会議初日の1週間前に議会運営委員会が行われ日程が確定します。
- ・インターネットで市議会の生中継をご覧いただけます。
- ・議会日程の他、今までの本会議の様様や会議録について、市のホームページ(市議会)から閲覧いただけます。

編集後記

今年の夏は、南海トラフ地震臨時情報が始めて発表され、台風10号が各地に深い爪あとを残すなど、災害が頻発し激甚化しています。被害を受けた方にお見舞い申し上げます。

災害が大規模化する中、各自が避難のタイミングを判断し、行動する必要があります。また、行政がそのための知識や情報を提供することも大切です。

今議会では、5年度決算などを審査しました。議会やまちづくりに関して、皆さまのご意見をお待ちしています。

山本 しのぶ

広報編集委員会

委員長 西山 幸千子
副委員長 柴田 はすみ
委員 野田 えり
委員 堤 征一郎
委員 小見山 正
委員 山本 しのぶ
委員 宮本 尚之
委員 高岡 伸行

議会に関するご意見ご要望がございましたら、議会事務局までご一報ください。

議会事務局直通

TEL 0774-75-1240

FAX 0774-72-8952

E-mail gikai@city.kizugawa.lg.jp